

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2022年1月1日 220号  
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

迎春

2022  
令和4年

レダより望む、パラグアイ川と虹

Rainbow and the Paraguay, seen from Leda.

明けましておめでとうございます

二〇二二年寅年！

一人の命を懸けた覚悟と決意が新しい未来を拓く！

文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻によつて一步を踏み出しました、パンタナール・レダを中心とした福地建設の歩みは23年目に入りました。

昨年から二〇二七年に向けて、新たな七年間の挑戦が出発しております。22年間の先輩方の汗と涙の精誠は、見捨てられてきた地域社会の人々、特に子供たちに大きな夢と希望を与えてきました。それはこれから地域社会や国家の発展に大きな力となるでしょう。昨年は地域社会との関わりに新たな試みがありました。そして新しい文化と産業を生み出し発展する、新しい時代がやってきました。老年・壮年・青年が互いの役割を果たしながら課題を克服し、共生・成長する新たな時代の出発です。

助け合い、協力しながら、世界の果てから誇りをもつて、希望の光を輝かせていく時が来ました。実体的に福地建設の福音を響かせる時代が始まります。

福地の新しい文化は「為に生きる」精神が息づき、全ての住民や地域社会の人々に生きる喜びと希望を、そして感謝と勇気を与えるでしょう。

創設者が願われた理想の実現を具体的に実践躬行し、形に表し、地域と国家と世界に夢と希望を、そして指針を与えることのできる時が近づいて来ました。

今年一年、皆様方のご健康とご多幸、そしてご活躍を祈念申し上げます。

二〇二二年元旦

一般社団法人  
南北米福地開発協会  
代表理事 中田欣宏





アセロラの実が初めて豊作。長田君(左)と天野君。11月26日

## レダ基地スナップ



パクーの人工孵化に向け親魚を選別するマグノ教授(右)と滝川君(中)。



岩澤所長より原理を21回受講したソーサさんに表彰状。 石井君(前列左3)とマグノ教授(その右)の歓迎会。12月1日



パクーの活け締めに挑戦。11月20日



レダファミリー団欒のひと時。11月11日



パクーの母魚に排卵を促すための注射。



上山氏(中)を見送る養豚チーム。11月24日



到着した林順一氏の歓迎会。11月19日



川久保君がエビのゾエアを観察。



5人の中期ボランティアの歓送会と早めのクリスマス会。12月5日



トロパンパ村でパクーを販売。11月13日

# 持続可能な福地建設をめざして(7)

## パンタナールの水に感謝しよう

和田賢一



今回のテーマは、「水」です。私たちは日常、何の心配もなく、ごく自然のように水を使っています。洗面、炊事、洗濯から風呂、掃除、植木の水やりまで、下水道処理人口普及率は約80%と言われています。こうした水の恩恵は私たちの生活面のみならず、社会全体にも及んでいます。私たちは何と恵まれた環境の中にいるのでしょうか。

しかし、世界の現状はどうでしょうか。国際NGOウォーターエンドが発表した「2020年世界の水の現状」によると、現在、安全な水を確保できない人は20億人いると指摘し、2050年には世界の人口の約半分の50億人が水不足に苦しむと予測しています。また国連児童基金のデータでは水不足によって、毎年150万人の子供が感染症によって死亡していると憂いでいます。

## 第22回パンタナール1日研修会を開催

去る11月20日(土)、東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟402室において、当法人とNPO法人地球の緑を守る会の共催で「第22回パンタナール1日研修会(ワンドレイセミナー)」を開催しました。新型コロナウイルス感染予防のため、検温、手指消毒、マスク着用、換気、ソーシャルディスタンスの厳守(定員の半数削減)などの対策を徹底しました。

明るい小春日和の朝、セミナーは一年ぶりの開催とあって、集い来る参加者、講師、発表者、スタッフ各人の表情や姿に喜びが表れていました。司会進行役は和田賢一氏。スタートは提唱者文總裁の想いを伝える柴沼講師。以後、参加者たちは最後まですべてのプログラムと熱心に向き合っていました。

● プログラム ● 「提唱者の思想とレダ開拓の歩み」

柴沼邦彦理事、● 「パンタナールにおける自然林再生と森林農業」高津啓洋NPO地球の緑を守る会代表理事、● 「青年活動の概要」島田賢二青年局長、

映像①第21回青年奉仕隊、②滝川哲盤君パクー養殖・販売、● 「レダユースの活動」角田愛里香代表、

● 「レダにおける今後の展望」後藤誠一副代表理事、感想発表・河原英一地球の緑を守る会船橋支部長

今回のセミナーの大きな特徴として、会

その背後でも青年のエネルギーが躍動していましました。大滝順治セミナー実行委員長は、「若返りと勢いを感じる素晴らしいセミナー」と報告しました。



恒例の記念撮影

Q Rコードから映像を視聴になります。当日会場で参加できなかつた方々は、右のQRコードから映像をご観聽になれます。



## 宮脇昭追悼植樹祭

主催..いのちの森づくり2020

0アプラス1未来へ、および出雲大社相模分祠、植樹会場・秦野市平沢向山1926・2036付近

10月30日(土)・31日(日)に開催された、宮脇昭追悼植樹祭の二日目に、当会とNPO地球の緑を守る

者のスタッフとして活躍しました。

会から4名が参加しました。

二日間で約200名が参加し、タブノキ、シラカシ、

スダジイを含む高木、亜高木、低木、約1000本を宮脇方

式で植えました。うち私たちの会が植えたのは約40本です。

資料..今なぜ木を植え

るのか(2019年4月

宮脇昭『いのちの森づくり』序文より)「緑の植物からなる森は、生態系の中の唯一の生産者

です。人間を含めた動物は消費者であり、緑の植物に栄養源を頼っています。どんなに科学・技術を発展させ、富を手に入れても、私たち人間は他の動物と同じように、緑が凝縮しているに依存して生きています。」

## 新東名秦野丹沢植樹祭2021

主催..NPO法人国際ふるやとの森づくり協会(ReNaFo)、いのちの森づくり2020アプラス1未来へ、お

よび出雲大社相模分祠、植樹会場・新東名秦野丹沢スマートICアクセス道路斜面、開催



12月11日

日..12月11日(土)  
当会とNPO地球の緑を守る会から計7名が参加し、ひとり10本程度植えました。勾配30度近い斜面に、郷土樹種のポット苗約3400本を宮脇方式で混植・密植し、稻わらを敷き、繩掛けをしました。

主催者より「苗木は我慢しあつて育ち、千年も二千

## 一般社団法人南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821  
FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751  
一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: <https://asd-nsa.com>  
Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

## 会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット(印刷済み)、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



<https://asd-nsa.com/nk/>

入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。

パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

## レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>